

## 例題5

助教授 濱本 正太郎

shotaro@rokkodai.kobe-u.ac.jp

5月14日までに e-mail で届いた答案は添削してお返しします。添付ファイルでなく、本文に答案を書いてください。

\*\*\*\*\*

「友好関係宣言」(教科書・条約集参照)においても述べられているように、政府転覆のための介入は国際法上違法な干渉と考えられる。

そこで、2001年10月7日以降の米英その他の国によるアフガニスタンに対する軍事力を伴う攻撃によりタリバン政権が崩壊し、「北部同盟」を中心とする新政権が誕生したことについて、国際法上の問題が生じ得る。

なお、米英その他の国による対アフガニスタン攻撃を国際法上違法と批判したのは、イラクのみである。

問 米英その他の国による対アフガニスタン攻撃は国際法上「干渉」であって違法だ、と言えるか。

注 武力行使禁止規則(国連憲章2条4項など)との関係での合法性・違法性は議論しなくてよい。